

さがみはら ぼらんていあ情報誌 季刊

わくわく



2018夏号

座談会 CSWがはたす役割と期待

文芸

訪問記

ふくひんポイント情報

認定 特定非営利活動法人相模原ボランティア協会

入笠から

日向 尋

いい具合な山がある

行けば日本の真ん中の山々が

一望できる 笠に似た山容

一九五五メートル 行ってみれば

なるほど

東 八ヶ岳 南 南アルプス

西 中央アルプス 北 北アルプス

見渡す この贅沢

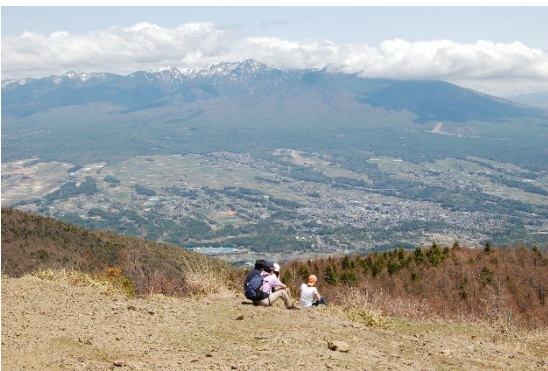
風が来る 北から 西から

うんうん 雪の匂いがしたぞ

うんうん 土の匂いがしたぞ

うんうん 緑葉の匂いがしたぞ

全部をほおばった気がした



巻頭詩	入笠から	日向 尋	1
もくじ			2
座談会	CSWがはたす役割と期待		3~9
ふくしワンポイント情報			10~11
相模原の史跡ー			12
まんが「わくわくさん」			13
障がい者の詩			14~15
大沼高齢者支援センターを訪ねて			16~17
人物シリーズ 42		荒木 乳根子さん	18~19



手話シリーズ 35	20~21
パズルにチャレンジ	22~23
私が選んだハイキングコース	24~25
	ー道歩川:西本	
情報コーナー	26
協会のPRページ	27
編集後記・奥付	28

CSWがはたす役割と期待

平成30年6月7日
あじさい会館にて

各地区のコミュニティソーシャル

ワーカーの皆さん

黒沢江里華さん(大野中地区)

桜井正孝さん(津久井地区)

柴田真弓さん(中央地区)

藤居昌行さん(田名地区)

司会／相模原ボランティア協会

西本 敬

◆各地区の紹介

司会／相模原市で展開されているCSW(コミュニティソーシャルワーカー)の現状について4人の方にお集まり頂いていろいろとお話を伺いたいと思います。最初に自己紹介をお願いします。

柴田／相模原市社会福祉協議会で中央地区担当CSWの柴田真弓と申します。私が担当している地区では3世代交流を

テーマとして実施しています。この地区の特徴は、人口約3万人で官公庁がある地区であることと、地形として横に細長で様々な活動が一か所に集中してやるというよりも拠点に分けて実施している方が多く、相模原駅から淵野辺公園近くの松が丘地区まで小地域ごとに様々な活動をしているということです。

司会／地区の地形まで説明頂き有り難うございます。

黒沢／大野中地区を担当している黒沢江里華です。大野中地区の特徴としては、人口も面積も大きな地域となります。人口は約6万人、生活の圏域には公民館が3か所あります。大野中は古淵駅近くで、町田にも近く商業施設があり発展しています。大野台は16号線から市役所寄りでも木もれびの森や16号線沿いに商業店舗があり中側はほとんど住宅街となっています。大沼地区は相模大野が近いのでバスで大野に出るなど、大野が生活圏域となっています。この地区の地域福祉は、平成28年度からコミュニティ形成事業をきっかけとしておおの

なかボランティアセンターが設立され高齢者の在宅支援を中心に行っています。

藤居／田名地区を担当している藤居昌行です。田名地区は広い地域で西側は緑区大沢、北側は上溝地区、東側は南区の麻溝地区で学校の圏域で言うところらの学校に通っています。南側は相模川です。特徴としては人口約3万人規模で、高齢化率も25%で全市の傾向と変わ



藤居昌行さん(田名地区)

りません。地域の人は比較的地元出身の人が多く、聞けばわかる名前の方が多いです。一方で交通の便が悪いのと、畑だった所も一気に売られて戸建てが建てられ、若い世代が入ってきているので新旧混在しています。この地域の特徴として、地

域的に区役所から言うとは坂を2回下つていくのでその分だけ自分たちの問題は自分たちでという気持ちが強いのと思っています。で、何をやるにも自分たちでやるうという風土があります。

桜井／津久井地区を担当している桜井正孝と申します。津久井地区は人口約3万人、高齢化率は市内で3番目、ちなみに、1位相模湖地区、2位藤野地区です。面的には旧相模原市の1・4倍で広域なので、9つの地域を、合併後も支部社協として位置づけました。中には山間部もあり高齢化が進んでいる地域もあります。皆が顔を知っている地域もあれば近隣関係が希薄化している地域もあるので、難しい課題となっています。

◆CSWとは

司会／CSWがどういう目的で設置されたのか、藤居さんご説明よろしくお願いたします。

藤居／さかのぼること10年前に市社協で第6次地域福祉活動計画を策定していますが、この時の重点的な目標がふれ

あいいいきサロンをたくさん作つていうという事でした。合併前で、小地域と言われる細かな単位で、顔見知りになったり、交流を作つていこうという事で進めてきました。その次の第7次計画になつたときに、改めてどのような重点的取組みをやつたらよいかと考えたときに、今までは小地域で推進してきたが、もう少し広い範囲でいわゆる22の地区単位で、例えばサロンの中で困りごとを発見した時に、22地区の単位の中で問題を共有し解決する仕組みづくりをしていこうというような取り組みを、福祉コミュニティ形成事業として進めていこうということ、22の地区の単位(小圏域)で行つて行こうと考えてきました。改めて現在第8次計画になっていますが、その際に今迄小地域、小圏域の中で対応できないような課題も出て来ていて、いろんなところで、引きこもりの問題、ごみ屋敷、近隣トラブル、生活困窮、複合的な課題、要介護の高齢者の家に引きこもりの子供や孫がいるという状態で、総合的に対応していく必要があり、そんな時に行

政は縦割りになつてしまいがちだということ、全国的にCSWが配置され、先進的にやつているところは成果も出てきていることもあつて、今までの小地域、小圏域に加えて、専門職として補いながらやつて行く職員が必要だということ、CSWを置いていこうという事になりました。平成27年、28年度はモデル事業として私を含め各区1地区を指定して配置し、その成果をもとに平成29年度から22の地区にCSWを配置しました。

司会／分かりやすくご説明頂き有り難うございました。どのような人がCSWを担うのですか？

藤居／モデル事業を始めたときは、社会福祉士もしくは精神保健福祉士の資格を持つているもので、3年以上の地区担当経験があるものが選ばれました。

今回22地区に配備するについては、年度ごとに配置地区を広げていくという考え方もありましたが、開始時期がずれするような地域格差は良くないと言う事で、22地区への配置で厳しい要件は外す

ことになりました。

◆CSWだからできること

司会／新しく担当になった方々はこれから頑張ろうと思っておられると思いますが、いかがですか。

黒沢／ボランティアセンターでの経験というのは、かなり助かっているというか、



黒沢江里華さん(大野中地区)

それが生かされている場面が多いと思います。ボランティアセンターというボランティアさんと相談者の方をマッチングするだけじゃなくて、精神障がいがあったり、不安を抱えている人のお話を聞くというようなことがケースとしてはかな

りあったので、それが今の仕事の中でも生かされているというのがありますね。

司会／今までのいろいろなご経験があつて、それが生きていますよね。CSWとして動いて、これはこの仕組みがあつたからこそできた、変わつてきたというようなお話はないですか。

桜井／そうですね。CSWということが世の中に広がつたということで、専門機関の方からいろいろと相談が多くなつたというのは事実だと思います。例えば津久井地区では、個別の支援を行うボランティアのグループがなかつたりするので、発達障がいの子どもの通学の支援に、付き添いをお願いしたいというような話があつた時に、社協の事務所に相談が来まして、ボランティアセンターみたいな形で調整はしてみました。結果的にはいろいろな方にお願ひしてつながることができました。CSWという名前があるものですから、ニーズが拾いやすくなつたようです。

司会／他の方はどうですか？個別のケースでありますか？

柴田／私がCSWになつて感じたことは、

地区社協と民生委員・児童委員協議会

二つの事務局をしている中で、元々民生

委員さんとかかわりが大きくあつたわ

けですが、CSWという職務を担うよう

になつて、民生委員の方からの相談が圧

倒的に増えてきたなと感じています。私

の場合ですと昨年あつた相談の8割ぐら

いが民生委員の方との関わりがあり、特

に印象に残っている事例としては、

ある民生委員さんが高齢者の方を戸別

訪問した際に、高齢者の方から実は家に

閉じこもりがちの40代の娘さんがいると

いうお話を聞いたという話がありますし

た。お父さんはどこかに就労させたいと

のこと。自立支援相談窓口というのがあ

るんですけど情報提供はしたんですけども、なかなか情報を伝えるだけでは実

際に相談に行くというのができない方が

引きこもつているわけですから、民生委

員の方と一緒に、その方のお宅を訪問し

て、直接娘さんに会つてお話をしたとこ

ろ、相談窓口があるということは知つて

いたんだけど、自分がその対象にな

るかどうかわからなかったし、そこを利用しようと思わなかったけれども、今日この場で民生委員さんとか社協の職員が来てくれたということを引きつけて、今の生活を抜け出してみたいということを書いていただきました。その後、とんとん拍子に進んで、現在就労するようになっています。ですから、直接アウトリーチができる、おうちを訪問して話を聞いて関係機関までつなぐという役割を担えるということは、大きなことだと感じています。



柴田真弓さん(中央地区)

司会／地区の方からすると、従来は、市社協の方と、まさか個別の細かいことまで話すとは思わなかったんですね。と

ころが改めてCSWですと言ったとたんに、だったらと、話が出やすくなったんですね。

柴田／そうですね、側面的な支援をする人という立場から相談相手の一人として認めてもらえたのかなという感触がありました。

黒沢／私はまだ具体的に支援をというのは、そこまで多くはないんですけども、今の柴田さんの話を聞いていたところで、民生委員さんとの関係性が変わっていったというところは私も感じています。行政に相談はしたけれども対応ができませんと言われたとか、あとは民生委員さん一人だけだと、なかなか訪問はしづらいけれどもとか、そういう相談が半年ぐらい増えてきているなという印象です。一緒に訪問することで、そこは行政サービスで対応できるかもしれないし、そこは自分の力で、できるかもしれないねと道筋を立てていったりとか、そういうことはできているのかなと思っています。

司会／なるほど。民生委員の立場から

すると行政というのは縦割りで、あるところに行つて違うよと言われたら、とたんにくじけたり、じゃあどこに行こうか、民生委員がどうやればいいのかという気持ちを持っておられる方もいるし、その辺で。一緒に悩んでくれる方ができたんだという感じがすかね。

黒沢／あとは、大野中というと、地区のボランティアセンターがあり、地域の中で暮している高齢者の方からボランティアセンターに相談があったけれども、ボランティアセンターだけでは解決ができないが、どこかほか窓があるかなということ、お話を数件頂いて、適切な窓口を紹介したということもありましたね。

◆CSWのじがすじ

司会／さきほどのお話の中では藤居さんはモデル地区のころからCSWをやられていて、これだからこの仕組みは役に立つんだという、お話がありますか。

藤居／CSWの役割というところでは、個別支援から地域支援、仕組づくりといった3つのサイクルをグルグルやりなが

らやつていきますよという流れの中で言えば、既に多くの場面で話しています
が、**地域猫**という取り組みがあります
た。民生委員さんからのご相談です。あ
る独居の高齢者男性が周辺の野良猫に
餌やりをしており、餌やりの猫集めのた
めに金属の棒をコンコンと叩いたり、
自宅2階から、家の前の道を通る車に対
してピーピー警笛を鳴らして注意した
り、夜、通っている車に対して懐中電灯
を当てるなどのトラブルになるようなこ
とがあつて、相談がありました。高齢者
支援センターと一緒にご本人の所へ行く
と、かつて猫が轢かれたという経験が何
回もあつたみたいで、行為の原因がわかっ
てきました。すると、この方は猫に対す
る愛情が強く、餌をあげる経済力もあ
るといふことがわかり、この方に対して
何ができるかなと考え、類似の例がない
か保健所に聞いてみたら、実は「地域猫」
という活動がありますといふことを教
えてもらいました。これは餌やりのルー
ルとか管理について、地域でルールを決め
て地域の中で見守っていくという取り組

みですが、この方がここで暮らしていくと
いふことを考えて、こういうことをやって
みませんかと会議の席でお話したとい
ろ、自治会長さんの理解も得られ、参加
してくれるボランティアさんも募りまし
た。当事者の方自身も朝の餌やりとか、
一緒にボランティアとして参加してくだ
さり、近隣の方と挨拶をする関係とか
もでき始め、ご自身の家でも8匹くらい
猫を飼つていて、ゴミ屋敷状態みたいにな
つていたので、近隣の方にもお手伝いた
だいて環境が整備されたなど、個別の方
の相談の中から地域の仕組づくりにつな
がった事例だと思えます。

司会／なるほどそうですね、ところで、
津久井地区ですが、すごく広いですね。
市街地と異なる点もあるでしょうから、
これからどんな風に構築しようと思わ
れますか？

桜井／なかなか難しいことではあります
が、いろんな機関と結んでいくというこ
とが大事かなと思つています。今、津久
井では一番大きい病院である赤十字病
院に地域包括ケアシステムをにらんでワ



桜井正孝さん(津久井地区)

ーカーさんを置くことになったんです
ね。そういうところがあるのですか
ら、入院していた患者さんが退院され
た時に、お互いに心配だから、CSWとの対
応を考えて下さらないかと、警察とか
も最近はいろいろ話をしたり、福祉施設
とかといろいろ情報を発信していつて仲
良くなるとか。民生委員や地区社協の
方とかと接しながら情報をこちらに引
き寄せよせるような対応を取らないと
一人なものですからなかなか動けないで
す。

◆期待したい社会資源

司会／わかりました。地域の機関を結びつけるということですね。そういう中で、これからどういふ社会資源がもつとあつたらいいのかという点で何かありますか。

柴田／そうですね、相模原市は相談窓口は細やかにたくさんある市かなと思います。そこにつながるために、お宅まで行って丁寧に取り取りをして、本当に困っていることを見極める人が足りないのかなという感じは受けています。ご自身では何に困っているのかが見えていない方が多く、何らかの障がいを抱えていたり、また、障がいを抱えているという認識のある方もあれば、認識のない方もおられます。ありのままを受け止めてそれを整理して振り分けていくというところがCSWに求められている部分だと思っておりますが、だとするともう少し手が足りないのかなという感じは受けています。

藤居／少し理念的な話になるのですが、私たちCSWと呼ばれています。コミュニティソーシャルワークをやっているんです。ですが、ある特定の人がコミュニ

ティソーシャルワークを専門的にやつていればそれで済むかというところ、そうではなくて、民生委員さんも含めて、いろんな相談事を受け止めて関係機関のどこかにつなぐなど、コミュニティソーシャルワークという考え方を取り入れて、皆がそういうことに取り組んでいければ、スキマのないことが可能で、一人でやるなんていうのは無理です。そういうことを皆さんには理解してもらいたいということは感じているところです。

◆「こうありたいと思つこと」

司会／先ほど桜井さんが言われたように、「旗を挙げた」ことによつて集まつてく

る情報についても同じですよ。旗が挙げたんで、だったらという話が周りから出てくるとか、縦割りで動いている様々な関係機関がそこに繋がつていくなど、そんなところが狙いですよね。そういうことを考えるときに、CSWとしてどういうところに力を入れて行きたいと思えますか？

柴田／力を入れていきたいところは、そうですね、地域支援につなげていきたいというのは思っています。やはり、個別の課題に関わつている中で、共通している課題が多く出ている部分もありまして、例えば、高齢のお母さんと精神疾患のある息子さんが一緒に住んでいて、その息子さんに支援が必要な状態が多発していることがあります。1件1件に対して、向き合つて関わつているものの、それらのケースを横に繋いでいくことで、地域全体で考えていくような仕組みづくりをしていかなければいけないと思つています。そこで、地区の中で理解するための講座や精神疾患に関するボランティアグループなど、なんらかの形で地域支援に繋げ



司会 西本 敬

ていけるように考えなければいけないところに来ているのかなと感じています。

司会／となると、ボランティア団体とともにあるいは、社協内部などで話し合う場所が必要ですよ。

藤居／はい、そこが一番難しいところで、22人の個別の人間が働いているところで、課題を吸い上げてどうしていくのか、というところが実はまだ見えてないところで、私も次の活動計画に向けて少しずつ提案をしているところです。市でも少しずつ横割りの会議をやり始めているところなので、そんなところでも課題提起できるといいのかなと思っています。

司会／地域は違うけれどもそういうニーズがあるよ、それが集約されるとこんなイメージになるよ、それが既存でやっているところとどのように違うのか、何が必要なのかとか、そういうスベックが明確になっていけば、役所同士の連携など、市民の側の役割も含めてわかってくるのではないでしょうか。

桜井／地域をつなぐというのは重要なことだと思います。ニーズが多様化してい

て、なかなか拾い上げるといのが難しい。自分の弱みを人に伝えるのは恥ずかしかったりし、パワーも必要で難しい。そういうことを感じ取るというか、言ってくださるといふか、声なき声を感じ取ることが、CSWを中心に地域で浸透していけばいいと思います。例えば、子どもの問題、いじめや貧困の問題とかはそうだと思います。なかなか言えないことを、察知できるとかですね。そんなことができるようになればいいかなと思います。

黒沢／子どものことと言うと、高校のスクールソーシャルワーカーをされている民生委員さんの話では、高校生の話を聞いてみると、小中学校で、何でそれを食い止められなかったのかという問題がたくさんあって、それは学校の責任かというところでもなく、じゃあ、学校の先生がそこまで家庭に踏み込めるかというところまでできないという状況を聞きます。また、子ども食堂とか学習支援などで子どもに焦点が当り始めている中で、地域の方からは、お母さんがただ楽をするために参加しているんじゃないの？と

いう声はどうしても挙がってしまうんです。昔と今の子育てが異なっていることとか、お母さんが少し楽になることでのゆとりもできるなど、そういったことも地域の皆さんと一緒に考えていくことも大事なかなと思っています。

司会／そうですね、地域でみつかる課題に対して、地域内で共有し、あるいは他の地域とも共有しながら、どうすればいいのかを地域に働きかけていく、そういう大きな役割がCSWにはあるのではないのでしょうか。課題の社会化をしていくとなんでしょうか。固有の活動も大事ですが、もつと皆が共有していけることが大切ですね。

桜井／この活動はまだまだ始まったばかりであり、長く続けることが大事で、内部的にもまだ悩んでいる部分もあって、これから情報発信することで、いろんな関係機関とからんでいくのが大事だと思います。

司会／本日は貴重なお話ありがとうございました。

写真担当／勝部幸三
(おわり)

成年後見制度について

● 成年後見制度とは

認知症や障がいにより、ひとりで判断することが難しい方が安心して生活できるように支援する制度です。

家庭裁判所によって

選ばれた成年後見人等が、本人に代わって財産管理や身上保護を行います。

● 成年後見人等が行う支援の例

財産管理

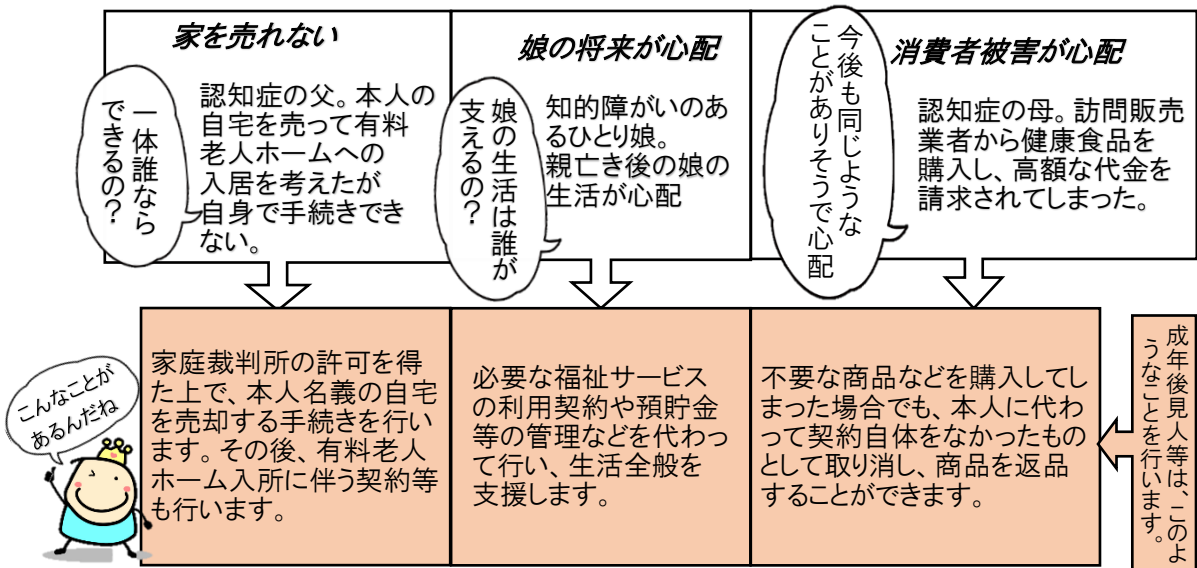
- ・ 預貯金管理
- ・ 年金受領
- ・ 不動産の売買契約
- ・ 税金、保険料の支払い等

身上保護

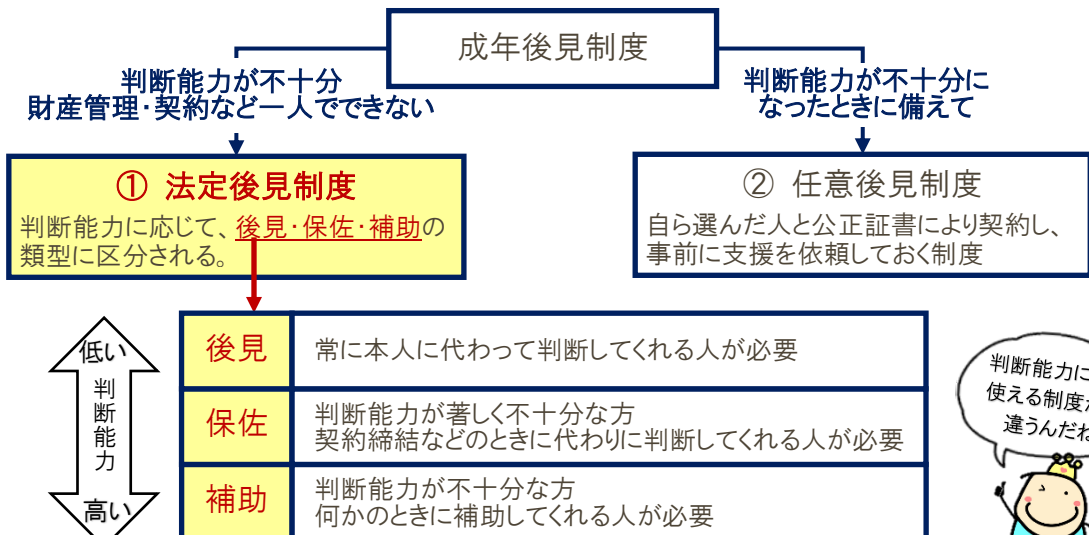
- ・ サービス利用契約の締結
- ・ 入退院に関する手続き等

○ 成年後見人等は、直接介護・身元保証・医療行為の同意はできません。

● 制度利用のきっかけ事例



● 成年後見制度は2つに分かれます。



※主治医へ診断書作成を依頼。その診断書をもとに家庭裁判所が類型を決めます。

①法定後見制度を利用するまで

申立準備

- ・申立てができる人は
配偶者・四親等内の親族
本人・市区町村長
- ・申立書類を家庭裁判所から取得
本人の住民票上の住所が
相模原市の方はこちらです。↓
ホームページ
【横浜家庭裁判所(後見係)】
からダウンロードも可能です。

申立

- ・家庭裁判所に申立予約
- ・申立書類提出

審判

・家庭裁判所が、最も適任と思われる人を
成年後見人等へ選任する。

※2週間以内に不服申立てが
されない場合は、審判内容確定

後見人等の活動開始



横浜家庭裁判所 相模原支部
〒252-0236
相模原市中央区富士見 6-10-1
TEL 042-716-0181

②任意後見制度を利用するまで

任意後見人を自分で決める

・判断能力が不十分になってきた時に
任意後見人に何をお願いしたいか
話し合つて決める。

任意後見契約締結

- ・公正役場で公正証書の
契約書作成
- ・公正人が法務局に登記

判断能力が低下

申立

- ・申立てができる人は
本人・配偶者・四親等以内の親族
任意後見受任者(任意後見人になる人)

審判

・家庭裁判所が任意後見監督人(任意後見
人の支援をチエックする人)を選任する。

任意後見人の活動開始

相模原公正役場
〒252-0231
相模原市中央区相模原 4-3-14
第一生命ビル 5階
TEL 042-758-1888



●成年後見制度について

詳しく説明してほしい、
相談に乗ってほしい等
ございましたら、
こちらまでご連絡を
お願いいたします。

●その他にも



社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
さがみはら成年後見・
あんしんセンター
〒252-0236
相模原市中央区富士見 6-1-20(あじさい会館 2階)
TEL 042-756-5034 FAX 042-759-4382

・日常的な金銭管理や福祉サービス利用の支援
成年後見専門相談

司法書士、税理士による成年後見
制度に関する無料相談(要予約)
相談日：月二回(第二木曜・
第三水曜)一人三〇分

・権利擁護相談

弁護士による無料相談(要予約)
相談日：月一回(第四火曜)一人四〇分

ご不明な点等ございましたら、お問合せ
させていただきますようお願いいたします。

相模原の史跡 大島長徳寺

このページでは相模原の史跡を紹介する。

大島長徳寺、開基の鳳山良長（ほうざんりょうちよ、1560年没）、本は武士であり、多くの部下を戦死させたことから、菩提を弔うために下大島の崖下に小堂を建て、供養した。その後、戦没者の遺族に加え

て、近隣の人たちも帰依し、檀家も多くなった。そこで、津久井郡根小屋村の功重寺（曹洞宗）から州山洞益（1599年没）を迎えて開山とした。

相模川に洪水があったある時、州山和尚が読経を続けていたところ、天井から大蛇が降りてきたため、和尚が驚いて外に飛び出すと、崖が崩れて、お堂は倒壊したため、現在の位置に移したという。本尊は釈迦如来で、1649年、寺領11石1斗の朱印を受けた。1759年、9代泰門の時に火災にあったが、10代慧学良能の努力により再建された。



大島長徳寺

本堂の建築は1767年で、間口11間半、奥行8間半、土台から棟までの高さは5丈1尺5寸あり、近辺にはない堂々たる

伽藍である。1973年に改修が行われた。以前は、山門の脇に観音堂があり、武相26番の札所として、参詣の人々を集めていた。現在は建物はなくなり、本尊の石造り2尺7寸の如意輪観音は厨子とともに、本堂の内に安置されている。

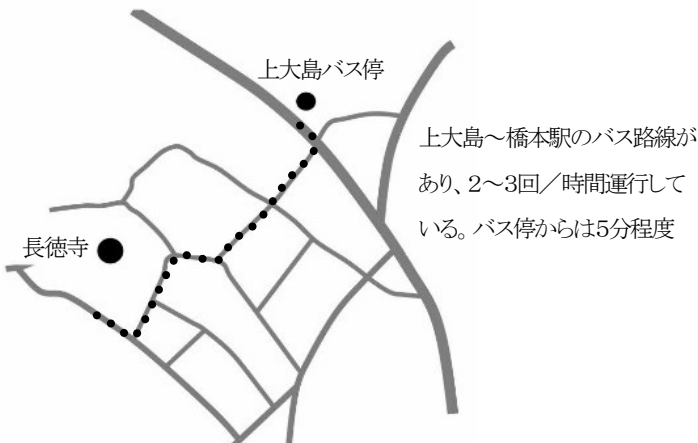
【徳本念仏塔】：鐘楼わきにある。

徳本は、宝暦1758年に紀州に生まれ、江戸時代後期に伊豆や関東の各地に念仏を広めた僧。徳本が近隣を訪れた際に、各村々の念仏講中（ねんぶつこうじゅう）がその特徴ある書体で書かれた名号（みょうごう）を求



徳本念仏塔

め、それをもとに念仏塔を建てたという。



※座間美都治著「相模原の史跡」を参考にした。

わくわくさん

作 髯野 克己

絵 鹿野 徹子

盲導犬なのに・・・



高齢者・障がい者の相談は

介護保険に関する相談窓口

042-769-8321

介護保険課

給付・保険料 042-769-8321

認定 042-769-8342

緑高齢者相談課 042-775-8812

中央高齢者相談課 042-769-8349

南高齢者相談課 042-701-7704

南保健福祉センター

042-701-7704

城山保健福祉センター

042-783-8136

津久井保健センター

042-780-8136

相模湖総合事務所 042-684-3215

藤野総合事務所 042-687-5511

障がい者の相談窓口

緑障害福祉相談課 042-775-8810

城山保健福祉課 042-783-8136

津久井障害福祉課 042-780-1412

相模湖保健福祉課 042-684-3216

藤野保健福祉課 042-687-5511

中央障害福祉相談課

042-769-9266

南障害福祉相談課 042-701-7722



夫婦行脚

三村忠貢

上り 下りの 人の世を
あんたと生きて よかつたと
笑う横顔 いじらしい
いいね いいね

おまえがいいね
夫婦行脚は おまえと二人

向かい風なら 前をゆき
冷たい雨に 肩を抱く
口に出さない 愛でしよう
いいね いいね

あんたがいいね
夫婦行脚は あんたと二人

花よ 咲け咲け この道に
雪どけ近い あの路に
冬は必ず春となる
いいね いいね

二人がいいね
夫婦行脚は 二人がいいね

無題

投野幸子

辛い時は
沢山の景色を思い出して
青い大空 赤い花
緑の木々
全部人が作った色じゃないよ
あなたも自分なりの色を
見つけてね



子供の絵

原田裕輔

わくわくの表紙の子供の絵がいい
難しい心 世の中の人と人 僕の病んだ(?)思考
日々 墮落してきた最近の生活
世の中のごちゃごちゃが いろんなものを つき抜け
表紙の絵は僕の心に届く

生まれたてで何も知らず
何も恐れない そして僕を癒す
今の僕にはどんな名画よりいいな…

僕だったらこの絵のまわりを
世の汚い うす汚れた黒
そう黒に染め そのままみんなに見せたい

僕の子が その友が その学校の子らが
病んだ僕を助ける

彼らに頼ってしまう
僕は仕事できず 夢に迷い
世にはじかれ くじけるから
情けない大人だから…

子らは僕がうつむいていると
下からニツコリ僕の心を見上げる
目をそらすな 心はそらせない

その絵は言っている
過去の記憶なんか 解放しなよと…



このコーナーで
は障がい者の皆
さんの作品を紹
介しています。

市内高齢者支援センター

二十二か所を訪問 その22

大沼高齢者支援センター

今年四月から、大野中ま
ちづくりセンター内の地域
包括支援センターが、大野



台、大野中、大沼の三つの

高齢者支援センターに分かれた。十一月二十八日(金) 若松にある大沼高齢者支援センターを訪れた。相模大野駅から県道五十二号線の東通りバス停から程近く、すぐ先にスーパーがあり、反対側歩道を少し行くと若

大通りに面した支援センター



松郵便局がある。事務所は大通りに面していて、入り口のドアもカラフルなデザインで目に付きやすいから知っているという方も



左が高木さん 右が有間さん

多い。

管理者(看護師)の高木さんと介護支援専門員の有間(ありま)さんにお話を伺った。

職員六人中(男性一人)旧大野中地域包括支援センターから四人移って来ている。担当地域は、西大沼、東大沼、若松。自然も豊富で、商業地域あり、住宅地ありで面的にも結構広い。地区の人口二四、一一六人中、高

齢者は六、五九二人で、高齢化率は二七・三%。市平均二二・六%からすると七番目に多い地域になる。建物の正面から見ると、間口が広く、右側が事務所、左側がコミュニティ室となっている。

九月からこの部屋を利用して「手芸の会」と読み聞かせサークル「ひまわりの会」が活動をはじめた。

どちらも講師は地域のボランティアの方で、「手芸の会」の参加者には男性も一人いる。こうしたサークルが増えることを願っているが、教えてくれるボランティアをどう探したらいいか、どんな内容なら男性も参加しやすいかなど課題もある。このコミュニティ室に親しみやすい名前をつけたいとも考えているそうだ。最近、地区社協や自治会が開いているサロンから高齢者のお困り情報を得ることが多くなっている。年

三回の地域ケア会議(自治会・民生委

員・老人会・高齢者支援センター・南

高齢者相談課)では、高齢者にとって、

安心して住み続けていくための地域

づくりについて話し合いをしている。

また、介護している家族の仲間づく

りとして、年四回シルバーふれあい

家族会を地区社協と連携して開催。

他に担当エリア内にある老人福祉セ

ンター若竹園の大広間を利用して介

護予防教室(口腔ケア・栄養指導・運

動等)も行っている。ぜひ参加して自

分の生活を見直すきっかけにして欲

しい。

この場所に移ってきたことで、身

近になったとか、顔馴染みの職員の

人がいて安心とか、買い物ついでに

立ち寄れて便利と言われるのは嬉し

いし良かったが、今後は、さらに地域

の方々や民生委員と連携して高齢者

が孤立しないような取り組みもして

いかなければ、と思いを話されてい

た。

お二人の並々ならぬ熱意が伝わり、

後期高齢者の私はこの地域だったら

よかったのに、と思ってしまう。

(山崎)

ボラ協会長から修了証を受け取り、

「デジタル化の大手づくりの拡大写

本は貴重なもので、心のこもったも

の。ボランティア活動は少しずつ、い

い、加減に活動する。ガンバリすぎな

いこと」などのことばを会長からい

ただき次のステップへ。三月終了を

めざします。

(植野)

大沼高齢者支援センター

住所 相模原市南区若松四一七

三 ソフィアビル一階

電話〇四二一七〇五五四三三五

この施設訪問の記事は、以前「ぼらんてい

あ通信」に掲載されたものを転載したも

です。内容について一部古いものがあるかも

しませんが、記事作成当時の内容ですので、

ご容赦ください。



わくわく編集委員及び印刷・製本ボランティアさん 募集！！

編集委員として、企画から取材・座談会など幅広くボランティアに関する情報を、できるだけ新鮮なまま読者に提供できるよう活動していただける人材を募集しています！

また、編集に携わるのは無理でも印刷や製本のお手伝いならできるかも……。というボランティアさんも大募集です！

お気軽に、まずは電話をしてきてください。お待ちしております。

連絡先 〒252-0236
相模原市中央区富士見6-1-20
相模原市立あじさい会館中央ボランティアセンター内
相模原ボランティア協会 広報委員会わくわく部会 まで
TEL 080-3175-2139 (小倉)

人物シリーズ42

今回は、

田園調布学園大学名誉教授（臨床心理士）

日本性科学学会セクシユアリティ研究会代表

荒木 乳根子 さんを

ご紹介します。

雨の中、読売ランド前の喫茶店でお会いしました。



お仕事は

現在、浪越学園日本指圧専門学校で心理学を教え、学生相談を担当しています。

ご出身は

長崎です。高校まで過ごし、東京お茶の水大学を卒業。卒業後、学生相談室に勤務。東京都教育研究所相談員。川崎市リハビリテーションシヨン福祉センター心理職。聖徳大学保健センター准教授。田園調布学園大学教授。リタイアして現在に至ります。

ご家族は

独身です。父母は亡くなり、認知症の姉の介護を手伝っています。「乳根子」という名前は、珍しいのですが、父が文学青年でして、万葉集の歌、「垂乳根の母・・・」からとって付けた名

前です。

ご趣味は

シャンソンを習っています。年二回コンサートがあり、今年ももうすぐあるので練習しています。三曲歌います。

「ALE・ALE・ALE」「バラ色の人生」「カルーソー」です。日常から離れ、ロングドレスを着て歌う。楽しいです。また、長崎で育ったので海が好きです。スキューバダイビングをするので、この数年は友人とパラオの海で潜っています。若いとき踊り子になりたいと思っていたことがあり、三十代で小松原庸子さんに習い、日比谷野外音楽堂での「真夏の夜のフラメンコ」にも出演したことがあります。

最近読んだ本は

高校頃までは文学書をよく読みま

したけど、最近は仕事関係の本が多いです。「福祉は性とどう向き合うか」

「季刊セクシユアリティ」等です。

音楽は

シャンソン。カンツォーネを聴きます。越地吹雪さんの歌が好きです。

相模原での講座は

相模原ボランティア協会に傾聴活動入門講座「傾聴を学ぶ」を依頼され、出向しました。色々なニーズの方が集まり、熱心に受講してください、ロールプレイなどもやりましたが、皆さんの協力で楽しい授業でした。

傾聴が今求められています。

研修後、それを生かしてボランティア活動をしてくださいと嬉しいですよ。

これからの「自身は

私に来てくださいという場所があ

ったり、求められたら、仕事をしていきたいと思えます。

これからの研究活動は、四十代半ばで筑波大学が開設した社会人のための大学院に入り、「高齢者のセクシユアリティ」について調査し修士論文を書きました。

先行研究では女性の回答率が低かったので、女性はパートナーとどのような愛情関係を持ちたいか、など知たかったです。

その後、個人としては介護の現場で遭遇する高齢者の性の問題を調査研究。「在宅ケアで出合う高齢者の性」

「Q&Aで学ぶ高齢者の性とその対応」などの本を出しました。

一方で日本性科学学会の婦人科医や臨床心理士の有志とセクシユアリ

ティ研究を立ち上げ、三回にわたって中高年のセクシユアリティ調査を実施。結果は「カラダと気持ち」「中高年性白書」などの本にしました。

性を挟んで男女が共に満足できる良い関係を形成するのはなかなか難しい。だからこそ、何か役立つような情報提供をという思いもあり、現在研究メンバーで「中高年の性の知恵」という本を作成中です。

「後期高齢者になりました」とおっしゃっていましたが、とてもお若いです。

ますますのご活躍を期待しています。

ありがとうございます。

聞き手 山本 和子

「賢い」

親指と人差し指の先をつけ合わせた右手をこめかみに当てる。



「小柄」

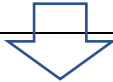
右手の親指を上向きに立て、他の4指を折り、あごの横に置く。目線と一緒にその手を胸のあたりまでまっすぐ下げる。



「暗い」

指を開くと同時に、右手をこめかみから離し、右斜め上に挙げる。

顔の横で両手の手のひらを前方に向け、全指を伸ばす。

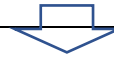


今回は、自分の周りの手話の基本的な単語を覚えていきましょう。

単語を覚えることで、簡単な会話を楽しみましょう。

「明るい」

右手の親指と人差し指を結んで輪をつくり、おでこ中央にのせる。



今回は、組み合わせで単語を表しています。

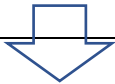
手のひらを前方に向けたまま、両手を目の前で交差させる。

親指と人差し指を離し、2指を伸ばして180度開かせる。



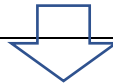
「学生」

両手の指を折り曲げ、胸の前で右手を下、左手を上置く。



「わたし」

右手の人差し指で自分の胸をさす。



「一生懸命」

両手の手のひらを向かい合わせ、両目の横につける。そのまま前方下へ卸していく。



下にある右手を上、上にある左手を下に位置を交替させる。



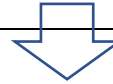
「～たち (二人)」

手の甲を相手に向け、人差し指と中指を立て、わたしともう一人のいる方へ移動させる。



「会社」

人差し指と中指を立てた両手を頭の上に置く。右手を前方に出しながら左手は後方へ引き、次に左手を前方にしたら右手は後方へ、と交互に動かす。



右手の親指と人差し指で輪をつくり、左の胸にのせる



「公務員」

両江の人差し指で「八」を示す。左手はそのまま、右手で「ム」を書く。



「員」

右手の親指と人差し指で輪をつくり左の胸にのせる。輪は、会社や団体のことをあらわす。



パズルにチャレンジ 解答編

今回の問題は歴代内閣総理大臣のお名前
でした。今まで96代の総理がおられます。
歴史の勉強にもなるかも！

①い	ぬ	か	②い		③た	な	④か	か	く
と			け		け		ん		
う		⑤ら	だ	か	し		⑥な	か	⑦そ
ひ					た		お		う
ろ		⑧か	つ	ら			と		す
ぶ						⑨い			け
⑩み	や	⑪ざ	わ	⑫き	い	ち			
		い		よ		ろ			⑬よ
		と		う		う			し
⑭じ	よ	う		ら			⑮お	か	だ

ヨコのかぎ

- ① 515事件で暗殺された。「話せばわかる」
- ③ 今太閤といわれたが、晩年は…。〇〇〇〇
〇えい
- ⑤ 平民宰相であった、は〇〇〇〇
- ⑥ 日本列島不沈空母の〇〇〇ね首相
- ⑧ 日英同盟、日露戦争のころ、〇〇〇たろう
- ⑩ 総理の後に大蔵大臣になられた珍しい例
- ⑭ 現役軍人のまま総理へ、そして開戦。とう〇〇〇
ひでき
- ⑮ 226事件時の総理。その後東條内閣倒閣に動
いた。

タテのかぎ

- ① かつて千円札といえば、そして初代の首相。
- ② 所得倍増計画、麦を食えて有名
- ③ DAIGOの祖父。経世会を創始
- ④ 東日本大震災時の総理。原発事故に…。
- ⑦ リクルート事件後に総理。在任69日間
- ⑨ 郵政改革のこいずみじゅん〇〇〇〇
- ⑪ 515の後総理に、226で射殺された。
- ⑫ 大正デモクラシー全盛期に首相
- ⑬ 敗戦後の日本の枠組みを構築。大磯

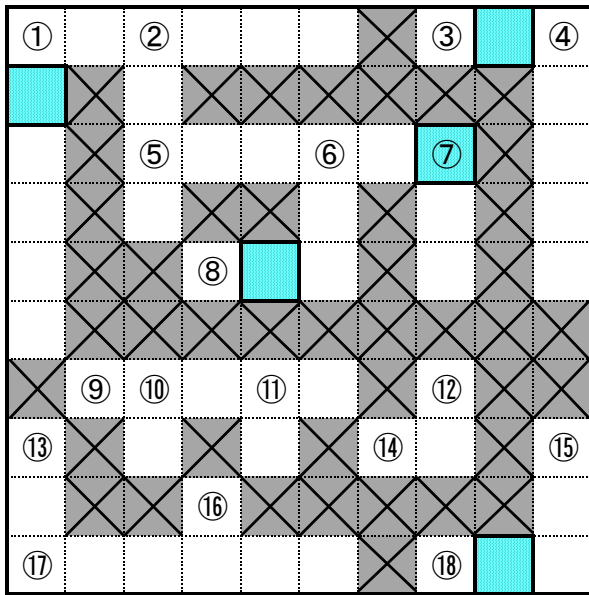
濁音は濁点ありなしどちらでも
読めるということ

□の3文字を集めましょう。
初めての昭和生まれの首相。
かいふとしき



パズルにチャレンジ 問題編

今回の問題は2018FIFAワールドカップ
ロシア大会から。出場国を考えてください。
たった32ヶ国ですよ。



ヨコのかぎ

- ① 日本の北海道と四国合わせた面積の島国
- ③ かつて世界貿易の通商交渉があった舞台
○○○アイ
- ⑤ 連合王国のうちの一つ。大都市を有する。
- ⑧ セ○○○。サハラ砂漠の西南にある。
- ⑨ ラテンアメリカ第3位の人口。内戦が続いた。
- ⑭ ○○ー。かつてインカ帝国の中心であった。
- ⑰ 北欧。ノーベル賞にも関係している国
- ⑱ 日本人のほとんどはこの国を応援しただろう。

タテのかぎ

- ① 南米。スペインの植民地であった。
- ② イニエスタが所属する国
- ④ ユーゴスラビアから独立した国
- ⑥ ブ○○○。これだけでわかる。
- ⑦ 我がお隣の国に負けてビックリ！！
- ⑩ ○○ア。開催国です。
- ⑪ セル○○。床屋さんが多いわけではない。
- ⑫ ○○ギー。最近めきめき強くなった。
- ⑬ 永世中立国。赤十字が始まった国
- ⑮ 中東、石油が豊かな国。
- ⑯ ○○ストリア。ラがないとヨーロッパの国

濁音、半濁音はどちらでも
なしでもありでも読めるということで

□の5文字を集めましょう。
ヨーロッパの西端、ロカ岬がある。
□□□□□



私が選んだハイキングコース（道保川） ～住宅街に隣接した意外な自然～

多くの人々が住んでいる旧相模原市の台地には山がありません。しかし、上中下段それぞれの境目には大きな段差があり、坂道があり、変化に富んでいます。今回紹介する道保川公園もその中の一つであり、豊かな自然は、子供時代に遊んだ野山を思い出させてくれます。まだの方、是非一度歩いてみませんか。

<道保川公園>

1990年7月1日に整備されて開園した風致公園です。故館盛市長も出席された開園式には筆者が所属している合唱団が呼ばれて、新公園に相応しい曲をとお願いされ、演奏したことを覚えています。残念ながら、筆者は整備前の状況は知りませんが、その後、6月にはホテルが飛びかう素敵な公園になって、市民の皆様が親しまれていると感じています。

この公園、実はあまり知られていないかもしれませんが、上の段と下の段があります。そのため、全体的には大変起伏に富んだ公園となっているのです。

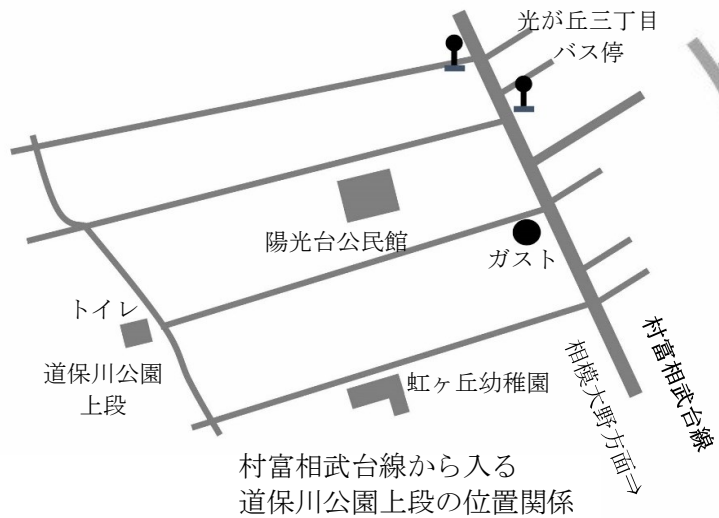
①アプローチするには、村富相武台線の光が丘三丁目バス停が最も近いようです。JR相模原駅と相模大野駅・小田急相模原駅・相武台前駅・北里大学病院を結ぶ路線ならどれでも利用可能ですし、淵野辺駅を基点とした路線もあります。

②バス停を降りたら、レストラン「ガスト」のところから入り、住宅街を400mほど西に行くと、上段の公園の入口となります。樹木が生い茂っており、住宅街の公園らしく、幼児の遊具が設置されています。「何だ、街中の小さな公園じゃないか」と思ってしまうでしょう。

③公園の中を右手に歩いて行き、公園が終わりそうな場所で、下に降りる階段が見つかります。公園全体の地図も掲示されています。よく見ておいて、さあ、ここから下りましょう。さらに右側に進むと、森の中を降りる坂道コースもあります。

④下段の公園はいくつもの路が整備されています。さかんに上り下りを入れながら、自由に散策しましょう。水がチョロチョロと流れ出ている場所がいくつかあります。うっそうとした森の中あり、草類に覆われた小川があり、変化を楽しみましょう。1周でおよそ1500歩くらいです。あれこれと道筋を変えながら何周まわってみましょうかね？

（西本 敬）



上段の公園 巨木が茂る



ホタルが飛び交う池



上段から下へ降りる階段



道保川の流れ
水を求めて鳥が来る
三脚を立てたカメラマンが絶えない

一情報のページー市内の高齢者支援センターー覧一

高齢者支援センターをほぼ一通り紹介してきた中でご家庭の保存版として、一覧をまとめてみました。(この情報は、相模原市のホームページ、びっくデータから抜粋)

緑区の高齢者支援センター

名称	住所	電話
橋本高齢者支援センター	緑区西橋本 3-1-14	042-773-5812
相原高齢者支援センター	緑区二本松 3-4-7	042-703-5088
大沢高齢者支援センター	緑区大島 1583-1 (介護老人保健施設グリーンヒルズ相模原内)	042-760-1210
城山高齢者支援センター	緑区久保沢 2-26-1 城山保健福祉センター2階	042-783-0030
津久井高齢者支援センター	緑区中野 966-5	042-780-5790
相模湖高齢者支援センター	緑区与瀬 896 相模湖総合事務所 1階	042-684-9065
藤野高齢者支援センター	緑区小淵 2000 藤野総合事務所 3階	042-686-6705

中央区の高齢者支援センター

名称	住所	電話
小山高齢者支援センター	中央区宮下 1-1-21	042-771-3381
清新高齢者支援センター	中央区清新 3-6-1	042-707-0822
横山高齢者支援センター	中央区横山台 1-1-1 田所コーポ 1階3号	042-751-6662
中央高齢者支援センター	中央区千代田 1-6-2 アスカマンション 1C号	042-730-3886
星ガ丘高齢者支援センター	中央区星ガ丘 3-6-21 マルセイハイツ 1-105	042-758-7719
光ガ丘高齢者支援センター	中央区光ガ丘 2-18-87 (光ガ丘ふれあいセンター内)	042-750-1067
大野北第1高齢者支援センター	中央区淵野辺 3-20-15 淵野辺コート 1階	042-704-9551
大野北第2高齢者支援センター	中央区鹿沼台 1-3-17 1-C号室	042-768-2195
田名高齢者支援センター	中央区田名 1262-5 D+STYLE 上田名ビル 1階	042-764-6831
上溝高齢者支援センター	中央区上溝 7-16-13	042-760-7055

南区の高齢者支援センター

名称	住所	電話
大野中高齢者支援センター	南区古淵 3-28-1 ランバーパート 6 1階	042-701-0511
大沼高齢者支援センター	南区若松 4-17-13 ソフィアビル 1階	042-705-5435
大野台高齢者支援センター	南区大野台 5-19-15 (シルバータウン大野台ケアセンター内)	042-758-8278
大野南高齢者支援センター	南区相模大野 3-1-33 丸徳ビル 1階	042-767-3701
上鶴間高齢者支援センター	南区上鶴間本町 6-28-14	042-767-2731
麻溝高齢者支援センター	南区下溝 756-6 (三和麻溝店 B館 3階)	042-777-6858
新磯高齢者支援センター	南区新戸 1716 (新戸デイサービスセンター内)	046-252-7646
相模台第1高齢者支援センター	南区南台 5-12-21 品田ビル 1-A	042-767-3888
相模台第2高齢者支援センター	南区相模台 6-12-11	042-741-6665
相武台高齢者支援センター	南区新磯野 4-1-3 (相武台まぢづくりセンター・公民館内)	046-206-5571
東林第1高齢者支援センター	南区上鶴間 6-6-1 (特別養護老人ホーム東林間シニアクラブ内)	042-740-7708
東林第2高齢者支援センター	南区相南 1-7-17	042-705-8278

あなたもハンディキャップボランティア号に 乗ってみませんか

～協会PRのページ～

協会では運転や介助のボランティアをやっていただける方を募集しています。また、ボランティアをやってみようという方のために1日体験の機会をもうけています。地域社会へのデビューのチャンスです。どうぞチャレンジしてみてください。



車の運転ならま
かしといて下さ
いよ！

一人で外出が困難な方は車いす利用の方だけではなく。
ご自分の車で活動に参加できる方式（セダン方式）も採用して
います。この機会にどうぞご参加ください。

ご自分が持っておられる力を社
会に生かすチャンスです。ご一緒
しませんか？

あじさい連絡所は、電話/FAXとも

042-759-7982 です。

連絡先

〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20
市立あじさい会館2階中央ボランティアセンター内
電話/FAX 042(759)7982 (相模原ボランティア協会)

編集後記

☆大雨による被害が過去の例をはるかに凌ぐ。起きてみると自然の脅威に恐怖するが、事前の想像ができないなあ。

☆未曾有の豪雨での西日本での被害。

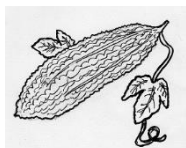
関東で暮している私には災害共同募金での協力しか出来ません。一日も早くの復興を祈っています。

☆平成もあと一年をきつたんですね。次の元号は何んでしょうね。

(髭)

☆今回の西日本豪雨では大変な被害となつてしまいましたが、一年前にはやはり梅雨の末期に九州北部豪雨がありました。豪雨が常態化しているような気がします。環境変化ですかね。

(倉)



さがみはら ぼらんていあ情報誌 季刊

わくわく 2018夏号 (第42号)

2018年7月28日発行

編集人 小倉 義男
西本 敬
髭野 克己
山本 和子
高橋 功
勝部 幸三

イラスト 鹿野 徹子

編集・発行・印刷；

特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会
総合企画委員会内 わくわく 編集委員会

本誌に使用している用紙(表紙を除く)はイオングループから提供されたものです。

表紙の絵

障害者地域活動支援センター「ウッティショップきこり」の佐藤秀規さんの作品です。海風が優しく吹いています。「きこり」は木工作業を中心に木のハガキ(動物や花)を制作しています。また、毎年メンバーの絵をカレンダーにして好評を博しています。



さがみはら ぼらんていあ情報誌 **わくわく** 2018年夏号（第42号 7月28日発行）
発行：特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会 広報委員会わくわく部会
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館中央ボランティアセンター内
☎042-759-7982 URL <http://sagamiva.info/> e-mail: sagamiva@feel.ocn.ne.jp